

・ きっと もっと 好きになる ・

Hachimantai 9

No.363
Sep. 2025

FAN



今月の表紙

市制施行20周年記念企画 「どんなまちになってほしい？」

自分たちの住むまちが「こうだったらいいな」「こんな風にしたい」という、未来の八幡平市に向けたメッセージを20人の小学生に書いてもらいました。

20人は、11月15日開催予定の「子ども議会」で、普段感じていることを質問したり、考えたことを提案したり、自分たちの意見を表明します(関連23頁)。



ハタチは、

はじまり



児童・生徒の3人が開庁式でくす玉を割り、新市の誕生を祝った(平成17年9月1日、旧市役所本庁舎(現JA新しいわて八幡平支所)前)



新庁舎開庁式では旧松野保育所の園児がくす玉を割った(平成26年11月25日、現市役所庁舎前)

本市は、9月1日に市制の施行から20年を迎えました。本号では、先人から受け継ぎ発展させた本市の魅力や特徴を写真で紹介するとともに、これまでの主な出来事を年表で振り返ります。また、まちづくりの未来を、市民と共に描くため、さまざまな分野で活躍する皆さんの抱負や希望を紹介します。

八幡平市は、平成17年9月1日に旧西根町、旧松尾村、旧安代町の3町村の合併により誕生し、本年9月1日に市制施行20周年という節目を迎えました。総面積862平方キロの市域に、2万2787人(8月末現在)の人口を有する本市は、豊かな自然を生かした観光振興を進めているほか、安代りんどうを始めとした農業、商工業、伝統芸能など、それぞれの町村からつないだ分野に磨きをかけ、歩みを進めてきました。また、海外からの誘客や再生可能エネルギーの地産地消など、新しい取り組みにも果敢に挑戦するなど、さまざまな魅力と特徴を兼ね備えた市です。

この20年の間、私たちは東日本大震災の発生や少子高齢化の進行、新型コロナウイルスの流行、情報通信技術の進歩など、激しく変化する社会状況に対応してきました。今後私たちが変化に対応し、予測困難な時代を生き抜いていかなければなりません。

本市は、恵まれた地域資源を生かし、市民の声と英知を集めることで、行政課題の解決に果敢に挑戦し、人や企業に選ばれるまちとして、さらなる発展につなげていきます。

旧3町村が合併した平成17年9月1日。農と輝の大地の将来像を掲げて誕生した八幡平市への大きな期待に胸を弾ませ、市民の皆さまと共に喜び合った日から20年という節目の日を迎えました。

この間、さまざまな課題に直面しながらも、子育て支援、医療提供体制、にぎわい創出、地熱電力などの豊富な資源の活用などの多くの施策の充実を図るとともに、旧3町村の特徴を生かした取り組みにより、市民生活の向上と市勢発展につなげてまいりました。

一方で、市民の一体感の醸成は、まだ道半ばだと感じています。それぞれの地域の良さを認め合い、交流することによって、郷土愛を深めてまいりましょう。次の10年は、第3次八幡平市総合計画基本構想のもとに、市民の皆さまと一体となって歩みを進めていきます。



八幡平市長

佐々木 孝弘

繋

つながり、磨かれ

拓いた魅力

圧倒的な自然と充実した観光資源

- ・日本一長い雪の回廊
- ・焼走り熔岩流・八幡平ドラゴンアイ
- ・為内の一本桜・不動の滝 他にも多数

多彩なスポーツ環境

- ・県内唯一のスキージャンプ場
- ・4カ所のスキー場・ラグビー場・射撃場
- ・相撲場・屋内運動場(全面人工芝) 他にも多数

自然エネルギーの活用

- ・地熱発電・水力発電
- ・日本初の商用地熱発電所「松川地熱発電所」を含む3つの地熱発電所
- ・地熱発電による電力を核として設立された日本初の地域新電力会社「はちまんたいジオパワー」

特色ある特産品

- ・生産量日本一の安代りんどう
- ・ホウレンソウ・八幡平マッシュルーム
- ・八幡平牛・コマクサ杜仲茶ポーク
- ・八幡平サーモン・地酒「わしの尾」
- ・安比塗・地熱染め 他にも多数

礎

礎を築いた
20年



▶▶旧西根町・旧松尾村・旧安代町は、平成17年1月13日に合併協定調印式を行い、56に及び合併協定項目を盛り込んだ協定書に署名し、調印した。



◀◀平成17年9月1日に、八幡平市が誕生。旧市役所本庁舎(現 JA 新いわて八幡平支所)前で開庁式を行い、関係者のテープカットで新市誕生を祝った。八幡平市長選挙を実施するまでの市制を担う職務執行者に佐々木正四郎氏が就任した。

八幡平市誕生までの歩み

- 明治8年
 - ・浅沢村、岩屋村、五日市村が合併し「浅沢村」が誕生
 - ・荒屋村、曲田村、目名市村、滝の又村が合併し「荒屋村」が誕生
 - ・田頭村、平笠村が合併し「田頭村」が誕生
 - ・平館村、堀切村が合併し「平館村」が誕生
 - ・寺田村、帷子村、荒木田村、上関村が合併し「寺田村」が誕生
 - ・松尾村、野駄村、寄木村が合併し「松尾村」が誕生
 - ・荒屋村、浅沢村が合併し「荒沢村」が誕生
- 昭和31年
 - ・大更村、田頭村、平館村、寺田村が合併し「西根村」が誕生
 - ・荒沢村、田山村が合併し「安代町」が誕生
- 昭和36年
 - ・西根村が町制を施行し「西根町」が誕生
- 平成12年
 - ・市町村の行政体制の在り方について県民が広く議論するためのたたき台として、岩手県が「岩手県広域行政推進指針」を策定し、3町村の枠組みによる合併を提示した
- 平成15年
 - ・西根町・松尾村・安代町合併研究会を立ち上げ
 - ・西根町・松尾村・安代町任意合併協議会を設立
- 平成16年
 - ・3町村会議で合併協議会設置を議決
 - ・西根町・松尾村・安代町合併協議会を設立
- 平成17年
 - ・合併調印式を開催
 - ・八幡平市施行を総務省が告示
 - ・3町村で閉町式、閉村式を開催

2025 令和7年	2024 令和6年	2023 令和5年	2022 令和4年	2021 令和3年	2020 令和2年	2019 令和元年	2018 平成30年	2017 平成29年	2016 平成28年	2015 平成27年	2014 平成26年	2013 平成25年	2012 平成24年	2011 平成23年	2010 平成22年	2009 平成21年	2008 平成20年	2007 平成19年	2006 平成18年	2005 平成17年
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

- 平成17年9月
 - 「八幡平市」誕生
 - 初代市長に田村正彦氏が就任
 - 合併記念式典を開催
- 平成18年4月
 - 八幡平幹部交番、八幡平消防署が設置
 - 市民憲章、市の花・鳥・木を制定
 - 岩手県宮古市と姉妹都市を締結
 - 沖縄県名護市と友好都市を締結
 - 松尾中、西根中で新体育館が落成
 - あしろ保育所畑分園を開所
- 平成20年4月
 - 雪冷房リンドウ培養育苗施設が落成
 - 安代地区コミュニティバスが運行開始
- 平成21年7月
 - 市道岩手山1号線(岩手山パノラマライン)開通
 - 大更コミュニティセンターが落成
 - 田山小学校新体育館が落成
 - 八幡平市民歌を制定
- 平成22年3月
 - 東日本大震災。市は支援物資提供などを実施
 - 西根松尾地区でコミュニティバスが運行開始
 - 松尾コミュニティセンターが落成
- 平成23年3月
 - 江間章子さん生誕100周年記念事業を開催
- 平成24年11月
 - 市役所新庁舎が開庁
 - 国道282号西根バイパスが全線開通
- 平成25年11月
 - JR北森駅が新庁舎隣に移設開業
 - 市合併10周年記念式典を開催
 - 新岩手農業協同組合花丹生産部会が天皇杯を受賞
 - 希望郷いわて国体冬季大会スキー競技会を開催
 - 希望郷いわて国体正式競技5競技とデモンストレーションスポーツ1競技を開催
 - 市起業家支援センターを開設
- 平成26年11月
 - 小林潤志郎選手がスキージャンプW杯初優勝
- 平成27年3月
 - 大更駅舎がリニューアルし営業開始
 - 松尾八幡平地熱発電所が本格運転開始
 - 小林陵侑選手が日本男子初のW杯ジャンプ男子個人総合優勝を果たす
 - 市消防団を11分団に再編し、始動
 - 奥南部漆物語、安比川流域に受け継がれる伝統技術が日本遺産に認定
 - 八幡平市立病院が移転新築
 - 東京オリンピック聖火リレーで市内を小林陵侑選手らが走る
 - ルワンダ選手団が市内で東京オリンピック直前合宿を実施
 - 松尾保育所が開所
 - 2代目八幡平市長に佐々木孝弘氏が就任
- 平成30年2月
 - 北京オリンピックで小林陵侑選手が金・銀メダル、永井秀昭選手が団体で銅メダルを獲得
 - 小林陵侑選手が2回目のW杯ジャンプ男子個人総合優勝を果たす
 - 平館コミュニティセンターが落成
 - ハロウィンターナショナルスクール安比校が開校
 - 牛預託施設「市繁殖育成センター」が開所
 - 吉池貞藏氏に名誉市民の称号を贈呈
- 令和2年4月
 - 「はちマルシェ」あしろマルシェを初開催
 - いわて八幡平白銀国体を開催
- 令和3年2月
 - 安比地熱発電所が営業運転を開始
 - 「八幡平市交流複合施設(8テラス)」が着工
 - 西根総合支所が大更駅前地区に移転
 - 地域新電力会社「はちまんだいジオパワー」を設立
 - 田山パーキング緊急入退出路が完成
 - 市制施行20周年記念式典を開催
- 令和4年2月
 - 「はちマルシェ」あしろマルシェを初開催
- 令和5年2月
 - 「はちマルシェ」あしろマルシェを初開催
- 令和6年3月
 - 安比地熱発電所が営業運転を開始
 - 「八幡平市交流複合施設(8テラス)」が着工
 - 西根総合支所が大更駅前地区に移転
 - 地域新電力会社「はちまんだいジオパワー」を設立
 - 田山パーキング緊急入退出路が完成
 - 市制施行20周年記念式典を開催
- 令和7年8月
 - 市制施行20周年記念式典を開催



「日本一のリンドウ産地」の礎を築いた吉池貞藏氏に、市制施行後では初となる名誉市民の称号を贈呈した。



旧北森駅から約500m移動し、市役所新庁舎と隣接した新北森駅が開業。同日には結のひろばと交通広場を結ぶ「結ロード」も開通した。



県が平成6年度に事業着手した国道282号西根バイパスが、20年の歳月をかけて全線開通し、パレードが行われた。



市民の一体感の醸成を図り、市が理想のまちづくりを目指すため、八幡平市民歌を制定。市民憲章推進大会で初めて披露した。



桜が結ぶ縁をきっかけに、昭和61年1月に旧松尾村と沖縄県名護市が締結し、積み重ねた友好都市交流を、合併後も継続することを確認した。



昭和61年10月に旧松尾村と旧田老町(現宮古市)が締結し、積み重ねた姉妹都市交流を、合併後も継続することを確認した。

名所や体験、食事、宿泊などが連携し お客様を迎えられるような観光地に

昭和55年8月10日に両親が「御食事処かっぱ」を創業し、私はお店を切り盛りする両親の背中を見て育ちました。社会人となり、歯科衛生士として働いていましたが「お店を閉める」という両親の言葉を聞き、家業を継ごうと決意。令和4年3月にお店をリニューアルし、両親と共に再出発しました。

両親が築き上げてきたものを大切にしつつ、自分の色もプラスしながら「また行きたい」と思ってもらえるお店作りを目指しています。また、県民の森の企画展に合わせ、コラボメニューを提供するなど、さまざまな場所や人とのつながりを大切にしています。市内の観光地や飲食店など、点と点をつなぐ動きが活発化し、観光地としてさらに盛り上がれば良いと思います。



カフェ食堂と宿を両親と営む
キッチンカフェかっぱ
小林 加奈子さん=温泉郷=

「将来も住みたい」と、子どもたちに 思ってもらえるような八幡平市に

結婚を機に、婿入り先の農業を手伝うようになったのがきっかけで、リンドウ栽培に取り組み始めました。現在は義理の両親とは経営を分け、約一町一反歩の農地にリンドウを栽培し、妻と二人の作業で年間35万本の切り花を出荷しています。

将来、子どもたちにもリンドウ栽培に取り組んでほしいなという願望はありますが、本人たちがやりたいことを選択すれば良いと考えています。

働く場や買い物場所、飲食店なども含め、将来も住みたいと思ってもらえるような地域になればと思うし、そんな地域を作っていかなければと思っています。



JA新しいわて花卉生産部会
りんどう専門部長
勝又 勝男さん=荒屋新町=

「ここで育って良かった」と 胸を張れるよう力を尽くしたい



「みんなの笑顔のために」がモットー
杉の子子ども園 園長
遠藤 武敏さん=松川=

平成8年に保育園に勤め始め、29年がたちました。この間、子どもを取り巻く環境は大きく変わってきましたが、その笑顔とあふれる元気は、今も変わりなく私たちにたくさんの幸せを届けてくれます。

子どもを育てる保護者の皆さまも、かわいい我が子の笑顔から元気をもらい、生きがいを感じ一生懸命に働き頑張っています。私は、そんな温かく幸せな家族の姿に日々触れることができ、心から感謝しています。

子どもの笑顔があふれるまちに育った子どもたちが、大人になった時に「八幡平市で育ってよかった!」と胸を張ってくれるよう、微力ながら力を尽くしていきたいと思っています。



いちごの魅力キッチンカーで広める
彩花園 BERRY HAPPY
伊藤 マディソン・レイさん=北村=

美しい景色や人柄は、 無くならないで欲しい

結婚を機にアメリカから移住し、夫の実家が営むいちご農家を一緒に手伝っています。全くやったことのない作業ばかりですが、今は、次の季節に向けて、いちごの苗を楽しみながら植えています。私と夫が家業を手伝うようになり、人出が増えたので、キッチンカーでいちごの販売を始めました。徐々にお客さんが増えてきて、うれしいです。さらにたくさんの人に彩花園のいちごを食べてほしいです。

八幡平市は景色がきれいでもとても良いまちだと思います。知らない人にも笑顔であいさつをするところは、アメリカと似ています。良いところは、この先も無くならないでほしいです。

自然、文化、食などの個性を熟成させて 市の魅力を、濃い輪郭で描けるように

漆を学ぶため奈良県から移住し、今年で22年になります。長くここで塗師として働いていますが、八幡平市は、きれいな景色がずっと変わらずにあることがすごいと感じます。

自分たちが拠点とする安比塗漆器工房は、安代町時代から運営主体が変わりましたが、漆器を作り、販路を拡大していくことをずっとやってきました。自分たちが携わったのはこの一瞬かもしれないけれども、荒沢漆器と呼ばれていた昔から続く漆器文化を、次の世代が生業にしたいと思えるようにつないでいきたいですね。市内の伝統や文化などの魅力をもっと熟成させて、市内外の人から「八幡平市って楽しいよね」って思ってもらえるようなまちになったら良いと思います。



安比塗・漆器の良さを次代に伝える
安比塗企業組合 代表理事
工藤 理沙さん=曲田横間=

ヒト、モノ、コトの魅力発信で 産業のブランド化、高付加価値化を

八幡平の山懐で育ち、この地でしかできない地熱蒸気染色を生業に暮らしています。

市内でも最も標高の高い山奥で暮らしているのではないかとありますが、ここで暮らし50年を過ぎると、不便さよりも恩恵の方を感じるようになりました。とは言っても、都会と比べ、暮らしていく上での便利さや仕事の上で劣ることも確かです。しかし海外では、服飾関係の分野において、不便な地方や田舎でもブランドとして成功した企業もあるので私もそれを夢見ます。

行政も含め、私たち市民も積極的に八幡平市のヒト、モノ、コトの魅力の発信が必要と感じます。そうすることで、八幡平市の産業のブランド化、高付加価値を認められる存在になると思います。



地熱を使った唯一無二の染色技術で色彩を表現
(株)地熱染色研究所 染色作家
高橋 一行さん=松川国有林=

八幡平市長選挙 八幡平市議会議員補欠選挙

投票日は **9月28日[日]** 午前7時から
午後6時まで

10月1日で任期が満了する八幡平市長選挙および議員の欠員を補充する市議会議員補欠選挙の投・開票が9月28日(日)に行われます。投票日当日に投票所に行くことができない人は、期日前投票または不在者投票を利用してください。

投票できる人

年齢要件 平成19年9月29日までに生まれた人
住所要件 令和7年6月20日以前から引き続き3カ月以上本市に住民登録がある人
投票日までに市外へ転出した人は投票できません。

投票所入場券

投票所入場券を各世帯に郵送します。入場券は本人だけが使用できますので、家族の入場券と間違わないように注意してください。

不在者投票

仕事・通学などにより市外に滞在する人は、滞在先の選挙管理委員会にて投票できます。事前に、本市選挙管理委員会に投票用紙などの請求手続きをください。病院や介護老人保健施設などに

入院・入所している人は、その施設で不在者投票ができるかどうかを確認してください。

なお、書類の郵送には日数がかかりますので、早めに手続きをください。

期日前投票

9月28日に仕事や外出などで投票できない人は、下表の日時および場所、期日前投票をすることができます。また、9月27日午前10時から午後7時まで、大更地区の「いわて生協ベルフ八幡平店」に臨時の期日前投票所を開設します。入場券裏面の宣誓書に必要事項を記入して来場してください。

移動期日前投票

バスで各地を巡回する移動期日前投票を実施します。気軽に利用してください。

戦没者悼み平和誓つ 市戦没者追悼式を開催

市は戦後80年となる節目の戦没者追悼式を次の日程で開きます。遺族会員以外で参加を希望する人は、事前に申し込んでください。

日時 10月22日(水)午前10時開始
場所 西根地区市民センター
申込期限 10月10日(金)
問い合わせ先 地域福祉課福祉総務係 ☎・内線1115

冬の一人暮らしの不安 生活支援ハウスで解決

市は一人暮らしなどで自宅での生活に不安がある要援護高齢者の一時的な生活支援の場として、生活支援ハウス居住部門を設置しています。冬期間の利用申請を受け付けますので、希望する人は申請してください。

所在地 小柳田210番地1
定員 10人程度
申請期間 9月19日(金)から10月10日(金)まで
申請先 (福)安代会(ふれあい)

生活困窮者の負担軽減 介護保険料を減額します

介護保険料の所得段階が第2・第3段階の人で、生活が困窮し、保険料の納付が困難と認められた人の保険料を下表のとおり減額します。

減額の条件 次の全ての条件に該当する人
(1) 世帯全員が住民税非課税
(2) 世帯の年間収入が120万円以下(2人世帯の場合)
※世帯3人目からは1人につき40万円を加算
※収入には預貯金、年金、仕送りなどあらゆる収入を含む
(3) 住民税課税者に扶養されていない
(4) 住民税課税者と生計を共にしていない
(5) 資産などを活用して、なお生活が困窮している

申請に必要な物

▼家族全員の預貯金通帳
※年金を現金で受け取っている場合は、年金の額が分かる書類
▼家族全員分の印鑑
申請受け付け 随時受け付けていますが、4月にさかのぼって減額できるのは10月31日(金)までです。

問い合わせ先 盛岡北部行政事務組合 ☎74・2716 または地域福祉課高齢福祉係 ☎・内線1105

表_所得段階ごとの減額措置

所得段階	減額前(年額)	減額後(年額)
第2段階	38,300円	36,000円
第3段階	54,100円	36,000円

県子育て支援員研修の 受講者を募集します

市は子育て支援の仕事に関心を持ち、地域型保育事業などの職務に従事することを希望する人などを対象に、県子

投票所がバスで巡回



期日前投票所

移動

9/25(木)	期日前投票所
10:00~11:00	平又長者前公民館前
11:30~12:30	目名市地区コミュニティセンター前
13:30~14:30	小屋畑公民館前
15:00~16:00	細野地区農村婦人の家前
16:30~17:30	安比高原集会所前
18:00~19:00	中沢自治公民館前

9/26(金)	期日前投票所
9:00~10:00	山後公民館前
10:30~11:30	旧渋川小学校前
12:50~13:30	平館高等学校 校舎前
14:00~15:00	若谷地自治公民館前
15:30~16:30	寺田新田 滝川様宅前
17:30~18:30	刈屋集落センター前

投票所(8:30~20:00)

期日前

9/22(月)~27(土)	9/25(木)~27(土)
・八幡平市役所(本庁)	・大更コミュニティセンター
・西根地区市民センター	・田頭コミュニティセンター
・安代総合支所	・平館コミュニティセンター
	・寺田コミュニティセンター
	・旧柏台出張所
	・田山スポーツ交流館

期日前投票所(10:00~19:00)

臨時

9/27(土)
・ベルフ八幡平

問い合わせ先 健康こども課
子育て支援係 ☎・内線1087

専門医にこころの悩み 相談してみませんか

市はこころの病気や悩み、ひきこもりやアルコールの問題などについて、専門の医師による相談会を行います。相談を希望する場合は、事前予約が必要です。

日時 10月28日(火)午後2時から4時まで
場所 市役所相談室
申込期限 10月21日(火)
問い合わせ先 健康こども課健康推進係 ☎・内線1089

おわびと訂正

広報はちまんたい8月7日号(No.362)の7ページ「中学校総合体育大会の結果」のうち、相撲男子個人無差別級の氏名について「斎藤 煌生(きらと)」さんと記載しましたが、正しくは「斎藤 煌生(こうき)」さんでした。おわびして訂正します。

競争入札参加資格申請
10月1日から受付開始

市は競争入札参加資格審査の申請の受け付けを行います。令和8・9年度中に競争入札に参加を希望する場合は、忘れずに申請してください。
対象事業者 8・9年度中に市(上下水道事業、病院事業を含む)が執行する競争入札に参加を希望する事業など(工事、建設関連業務、物品・役務などの全ての事項)※現在参加資格を有する事業者も、引き続き入札参加を希望する場合は申請が必要です。

申請方法

申請の受け付けは、盛岡広域8市町(盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢中町)合同で受け付けます。申請はホームページ上の受付システムを利用して行います。詳細は9月中旬以降、市ホームページに掲載しますので、確認してください。

受付期間

10月1日(水)から10月31日(金)まで

注意事項

申請内容の訂正や添付書類

漏れへの対応などに備え、余裕をもって申請してください。

盛岡広域内の他市町への参加申請も可能ですが、資格要件や一部様式が共通化されていないものがあります。

申請内容によっては、希望する事項での名簿登録とならない場合や名簿登録ができないことがあります。

受付システムの操作説明

市内に本社・本店を有する事業者を対象に、受付システムの操作説明を行います。希望する場合は、総務課に問い合わせてください。

日時・会場 10月6日(月)から10月9日(木)までの期間中に市役所にて随時行います。時間は問い合わせください。

持ち物 II・IIIを可能なおノートパソコン
問い合わせ先 総務課契約管財係(☎・内線1242、1243)

就農希望者向けの相談会を開きます

市と八幡平農業改良普及センターは、農業の担い手の確

保や育成を図ることを目的に就農相談会を開きます。

対象者 次のいずれかに該当する人(親元就農者を含む)

▽市で就農を希望する

▽市で就農した新規就農者(就農開始5年以内で就農時49歳以下の人)で、新たな栽培品目・部門の導入を考えている

日時 10月2日(木)午後1時から4時まで

会場

市役所多目的ホール棟
申し込み方法 参加申込書に必要事項を記入の上、八幡平農業改良普及センターに持参またはファクス(75・2269)、メール(CEO36@pref.iwate.jp)で提出してください。

申込書は同センターFacebookまたは市ホームページからダウンロードできるほか、同センターまたは農林課の窓口で交付を受けてください。

申込期限 9月26日(金)※先着順で、6組まで

問い合わせ先

同センター地域指導課(☎75・2233)、農林課経営支援係(☎・内線1344)

行政に関する悩みを相談してみませんか

国から委嘱された行政相談委員が、行政に関わることで困っていることや要望したいことについて、無料の行政相談を行っています。

本年4月1日に、澤口実さん(中関)と曲田横間(安代)が2年の任期で新しく委嘱され、松尾地区を担当する高橋稲子さん(南寄木)と3人で毎月1回地区ごとに相談所を開設し相談に応じます。



山本 正信さん 高橋 稲子さん 澤口 実さん

毎月の相談所開設日は、情報カレンダーに掲載していますので確認してください。

行政相談月間を実施

総務省では、行政相談制度の利用促進を図るため、9月1日から10月31日(金)まで全国一斉に「行政相談月間」を実施しています。市でも左表のとおり行政相談所を開設します。相談は無料で秘密は厳守します。

問い合わせ先

まちづくり推進課地域振興係(☎・内線1455)

表_行政相談所開設日時と場所

地区	担当	日程	時間	場所
西根	澤口 実	10月19日(日)	10:00~15:00	大更コミセン
		10月22日(水)	9:30~12:00	
松尾	高橋 稲子	10月20日(月)	9:30~12:00	市役所本庁舎
安代	山本 正信	10月28日(火)	9:30~12:00	安代総合支所
		10月29日(水)		館市コミセン

自分の命をクマから守る
予防対策をしっかりと

県全域に「ツキノワグマ」の出没に関する「警報」が発令されています。被害に遭わないよう、クマの出没を防ぐ対策をしましょう。

予防対策

▽屋外で作業をするときは、ラジオやクマ鈴を携帯する
▽刈り払いを行い、見通しを良くする

▽家屋・車庫・物置などへ出入りするときは、室内に侵入されないように施錠する
▽残飯や野菜くずなど、クマのエサになるものを放置しない

農被害や建物への侵入があった場合は、速やかに農林課に通報してください。

問い合わせ先

農林課林業係(☎・内線1336)

食改協の会員を講師に
郷土料理を学んでみよう

市と市食生活改善推進員連絡協議会は、市民を対象に郷土料理教室を開きます。次の世代に伝えていきたい

地域の郷土料理や食文化について楽しく学びましょう。

日時 10月7日(火)午前10時から午後1時半まで

メニュー 舞茸ご飯、柳ばつと、豆腐の味噌田楽

場所 田頭コミセン

定員 10人※先着順

参加費 500円

持ち物 エプロン、三角巾

申込期限 9月30日(火)

申し込み方法 健康こども課健康推進係に電話

で申し込んでください。

右記QRコードからの申し込みも可能です。



申し込みはこちら

問い合わせ先 健康こども課健康推進係(☎・内線1191)

後期高齢者医療保険の
配慮措置は9月30日まで

県後期高齢者医療制度に加え、窓口負担割合が2割に引き上がった人を対象に、4年10月から行っていた配慮措置が9月30日(火)で終了します。

これまでは、外来医療費の1カ月分の増加額を3000円までに抑制して

いましたが、10月からは、自己負担限度額18000円のみ適用されます。

問い合わせ先

県後期高齢者医療広域連合(☎019・606・7507)、市民課国保年金係(☎・内線1073)

負担区分: 一般II	
9月30日まで	10月1日から
18,000円または6,000円 + (医療費 - 30,000円) × 10%の低い方の自己負担額	18,000円

運転に関する悩みなどを相談してみませんか

市は高齢者自らが体の状態や運転技術を把握する機会として、岩手西北医師会、STモータースクール、滝沢市と共催で、いきいきドライブCafeを開きます。

日時 10月1日(水)午後2時から4時まで

場所 STモータースクール

北校(滝沢市菓子169・3) 内容



- (1) 安全運転の講話
 - (2) 運転技能や視力チェック
 - (3) お茶を楽しみながら情報交換
- 対象者** 65歳以上の市民とその家族
参加費 3000円
申し込み・問い合わせ先 地域包括支援センター(地域福祉課内)(☎・内線1107)

寄付をいただきました

本市に寄せられた厚意を紹介いたします。

▼八幡平市建設協同組合様
8月8日、八幡平ふるさと花まつりへの財源支援にと40万円が寄せられました。

[広告] この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

最近、写真撮りましたか?
複数枚撮った中から好みの写真を選べます
スタジオ撮影できれいな仕上がりに!
ペットと一緒に撮りたい!お気に入りの衣装で等々
ご自宅や思い出の場所での出張撮影もOK(市内無料)
キャビネプリント + 台紙 or 額 + 撮影データ1枚付
先着30名
今なら 8800円(税込)
「広報を見たよ」でお知らせください!
TEL:0195-74-2095 FAX:0195-78-8029
photo@elcamera.jp

元気に笑顔で、あなたらしくお仕事をしませんか!?
地元で働く方、**スタッフ大募集!!**
■職種/①自動車整備工 ②ガソリンスタンドスタッフ
※有資格者・経験者優遇、未経験でも資格取得応援・丁寧に指導します
■給与/①月給17万円~ ②月給16万円~
■勤務/①8:30~17:30 ②8:00~17:00 履歴書・職務経歴書を準備の上、お気軽にお電話ください
■休日/①週休2日制 ②シフト制 待遇面など詳しくはお問合せください
株式会社 小山田商店 岩手県八幡平市清水67-4 TEL:0195-72-2121
http://oyamada-s.com/top/

毎週金曜日午後1時から、エフエム岩手で八幡平・岩手・葛巻3市町情報発信番組「Hikingはいきんぐ」レディオを放送しています。

Calendar grid for Monday to Friday with dates 9/22 to 10/17. Each cell contains event details such as museum days, blood donation, and local activities.

Calendar grid for Saturday and Sunday with dates 9/27 to 10/19. Includes details for Tom's Chat Time, library events, and various sports and community activities.

Table for 休日救急当番医 (Holiday Emergency Duty Doctor) listing hospitals and clinics in the city and surrounding areas like Hachimantai and Kamaishi.

Table for 小児救急入院受入当番病院 (Pediatric Emergency Hospital Admission Duty Hospital) listing hospitals and their phone numbers.

Table for 休日当番薬局 (Holiday Duty Pharmacy) listing pharmacies in the city and surrounding areas.

Table for 小児科・常勤医の専門外来日、岩手医大・県立中央病院などの出張診療日 (Pediatric and Regular Doctor Specialist Outpatient Days, etc.) listing hospitals and their specialty services.

※八幡平市立病院の専門外来など(耳鼻科を除く)は、一般内科もしくは一般外科で初診を受け、医師が必要と判断した場合、次回から予約受診になります。

Table for 各種相談 (Various Consultations) listing consultation names, dates, locations, and responsible parties.

※土曜・日曜日は閉庁日です

※行政相談はカレンダー内に記載しています。

昭和40年に結婚した夫婦 結婚60周年を祝福します

(福)市社会福祉協議会では、ダイヤモンド婚を祝う会への市内在住の参加者を募集しています。
日時 11月13日(木)午前11時から午後1時半まで
場所 いこいの村岩手温泉ホテル
会費 1人3,000円
申込期限 9月26日(金)
申し込み・問い合わせ先 地域の民生委員、同協議会(☎74-4400)

平和と安全を守る防衛医科大学生などを募集

自衛隊では、①防衛大学、②防衛医科大学の学生を募集しています。
試験日 申込期限
① 11月1日(土) 10月16日(木)
② 【医学学科】10月25日(土) 10月8日(木)
【看護学科】10月18日(土) 10月3日(金)
問い合わせ先 自衛隊協力本部盛岡募集案内所(☎019-641-5191)

ひとり親家庭の悩み事 無料相談窓口で相談を

ひとり親家庭等応援サポートセンターでは、ひとり親やその家族を対象とした相談に応じています。
相談日時 月曜日から金曜日までと毎月第3土曜日いずれも午前9時から午後5時15分まで
相談・問い合わせ先 同センター(☎019-601-7021)※LINEも可

女性司法書士による 相談会を開催します

県司法書士会では、相続など法律が関係する悩みを抱えた女性を対象に無料法律相談会を開きます。
日時 9月23日(火)午前10時から午後1時まで ※午後0時半受付終了
相談方法 ①面談相談(要予約) ②電話相談 ☎019-656-0561
面談予約・問い合わせ先 同会事務局(☎019-622-3372)

県立博物館の運営に あなたの意見を反映

県教育委員会事務局では、県立博物館協議会委員を公募します。
任期 12月23日(火)から2年間
公募期限 9月19日(金)必着
問い合わせ先 同局生涯学習文化財課(☎019-629-6182)

土砂災害警戒区域の 現地調査を行います

県では、9月中旬から12月中旬まで、土砂災害防止法に基づき、土砂災害による被害が生じる恐れのある場所への立ち入り調査を行います。
なお、今回の調査対象は建物ではないため、調査員が家屋内に立ち入ることはありません。
調査会社 (株)総合土木コンサルタンツ ※身分証を携帯し調査します
問い合わせ先 岩手土木センター 河川砂防チーム(☎62-2888)

金銭貸借・遺言などは 公正証書で安心確実に

盛岡公証人会では、無料公証相談会を開きます。※要予約
日時 10月1日(水)から7日(火)までの各日午前9時半から午後4時まで
場所 盛岡公証人合同役場
予約・問い合わせ・電話相談先 同役場(☎019-651-5828)

相続・不動産登記に関する 相談会を開催

県司法書士会、県土地家屋調査士会合同で、無料相談会を開きます。
日時 10月4日(土)午前10時から午後3時まで ※午後2時半受付終了
相談会場 西根地区市民センター
電話相談 ☎019-656-0561
相談内容 登記、境界問題など
問い合わせ先 県司法書士会事務局(☎019-622-3372)

いわての魅力あふれる 景観などの写真を募集

県では、希望郷いわて景観フォトコンテストの作品を募集しています。
応募期限 10月31日(金)
問い合わせ先 県都市計画課景観まちづくり担当(☎019-629-5891)

「盛岡年金事務所」が 10月14日に移転します

日本年金機構盛岡年金事務所は、10月14日(火)から、下記に移転します。
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-6-8 monaka4階
移転に伴い、通常の開所日にあたる10月11日(土)は、移転作業のため閉庁します。相談を行いたい場合は、近隣の年金事務所を利用してください。
問い合わせ先 同年金事務所(☎019-623-6211)

相続登記に係る講演会 困りごと相談所を開設

総務省では、相続登記の義務化に係る講演会と、弁護士などによるくらしの困りごと相談所を開設します。
日時 9月30日(火)【講演会】午後1時から2時まで 【相談所】午後2時から4時まで ※いずれも要予約
場所 アイーナ501会議室
予約期間 9月16日(火)から26日(金)
予約・問い合わせ先 行政監視行政相談センター(☎019-622-3470)

空き家などに関する 無料相談会を開催

宅地建物取引業協会盛岡支部では、空き家、不動産に関する無料相談会を県不動産会館で開催します。
日時 10月7日(火)午前10時から午後3時まで
予約・問い合わせ先 同協会(☎019-646-1111)

すこやかに

※個人情報保護の観点からホームページ上に掲載しないこととしました。

お幸せに

やすらかに

● 人口の動き【7月31日現在 ()は前月比】

Table with 3 columns: 地区, 人口, 世帯数. Rows include 西根, 松尾, 安代, 合計, 男性, 女性, 出生, 転入, 死亡, 転出.

● 交通事故発生件数など ()は前年同月の数

Table with 3 columns: 項目, 7月, 1月からの累計. Rows include 人身事故, 死者, 負傷者, 物損事故, 飲酒運転, 火災, 救急.

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

シロアリ・羽アリ・ハチ・毛虫・ネズミ・コウモリ・ゲジゲジ 害虫駆除お任せください!! 八幡平市からのご依頼増えてます

ミシンの出張修理 受付中! こんな症状に困っていませんか? 糸が切れる 針が折れる 糸調子が合わない 音がうるさい

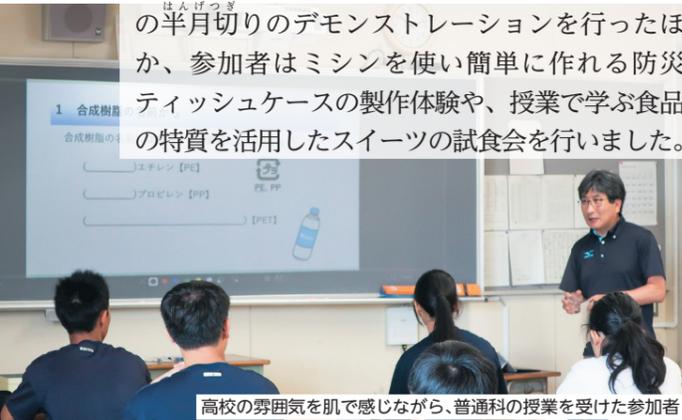


家政科学科の体験授業(デモンストレーションを見学)

リアルな平高の魅力を体験

本校の1日体験入学は7月30日に行われ、市内外の中学校から46人の中学生が参加しました。

参加者は、事前の希望に従い、普通科と家政科学科に分かれて授業を体験。普通科では化学式を模型で組み立てる授業や、百人一首に関する古典の授業を受けました。また家政科学科では、食物調理技術検定3級の課題にもなっているキュウリの半月切りのデモンストレーションを行ったほか、参加者はミシンを使い簡単に作れる防災ティッシュケースの製作体験や、授業で学ぶ食品の特質を活用したスイーツの試食会を行いました。



高校の雰囲気を感じながら、普通科の授業を受けた参加者

お土産で配った熔岩パンにも参加者は興味津々の様子で、高校生活のイメージを膨らませる良い機会になりました。多くの中学生の入学をお待ちしています。

田頭・平笠小児童を対象に学習ボランティア

本校生徒12人は8月4日、田頭小コミュニティ・スクール連携事業として、田頭小・平笠小の児童を対象に、田頭コミセンで開かれた「夏休み寺子屋へGo」に、ボランティアとして参加しました。

生徒は、児童が持ち寄った夏休みの課題と一緒に取り組んだほか、家庭クラブ員が、八幡平に伝わる昔話「こめことぬかっこ」の読み聞かせを行いました。最後はみんなでおやつを作り、楽しい時間を過ごしました。

児童の皆さん、次は冬休みの寺子屋で会いましょう。



児童と一緒に課題を考える本校生徒



昔話の読み聞かせをしました

平高LIFE

平高に入学した理由

小学校、中学校と野球をやっていたこともあり、一つ学年が上の先輩たちと一緒に野球がしたくて入学しました。

平高で頑張っていること

野球部は単独でのチーム編成が難しくなり、連合チームを組み頑張っています。先生がマンツーマンで指導してくれるので、技術の向上ができます。即戦力として活躍出来るので、新入生の入部を待っています。授業では、1年時の総合的な探究の時間で、市のことを、より深く学びました。いろいろなお店を訪問し、話を聞くフィールドワークは楽しく充



野球の経験は問いません一緒に白球を追いかけよう

硬式野球部部长

滝川 和絆 さん

(普通科2年：西根一中出身)



鋭いバッティングを見せる和絆さん

将来の夢・進路

将来は、父と同じ大型トラックの運転手になりたいと思っています。そのために、無線や危険物、重機の操作に関する知識など必要な資格が取得できるように勉強も頑張っています。

平高推しポイント

家政科学科が製作・販売している紫薫枕の評判はとても良いです。枕の中にそば殻と紫根染に使うムラサキの根が入れてあり、自分も使っていますが、寝心地が良く安眠効果も得られ最高です。

～認知症の人やその家族を温かく見守る応援者～ 認知症サポーターボランティアになりませんか



詳細はこちら

市は、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、「認知症サポーターボランティア」を募集しています。

どんな人が登録しているの？

市内に在住する認知症サポーター(認知症サポーター養成講座を受講したことがある人)で、認知症についてもっと学びたい人、認知症サポーターとして活動したい人、自分の身近にいる認知症の人についての悩みを共有したい人など、30人がメンバーとして登録しています。

活動内容は？

市内各地で行われている認知症カフェ(通称「ゆうゆうカフェ」)にスタッフとして参加しているほか、市の認知症普及啓発活動のお手伝い、認知症が疑われる人の見守り活動などを行っています。例えば、認知症の人の買い物に同行し、支払

いの補助や袋詰めのお手伝いをしたり、ゆうゆうカフェ参加への声掛けをしたり、個人または仲間と一緒に、自分のできる範囲で無理なく活動しています。

認知症サポーターで、活動に興味のある人は、ぜひ問い合わせてください。



ゆうゆうカフェに参加

認知症サポーター養成講座とは

認知症の基礎知識や認知症の人への対応方法などを学ぶ講座です。

学校や職場、サロン、老人クラブなど各種団体からの受講申し込みを随時受け付けています。開催を希望する日の1カ月前までに市地域包括支援センターに申し込んでください。

不明な点は気軽に相談してください。

障がいの悩みごと・相談は障害者相談員へ



詳細はこちら

市は、障がいがある人の地域活動の推進や生活に関する悩みごとの相談に応じるため、身体障害者相談員1人と知的障害者相談員2人を委嘱しています。

身体障害者相談員・知的障害者相談員は、障がいのある人またはその家族からの相談に応じ、必要な助言や指導を行うと共に行政機関などへのパイプ役として活動しています。

相談は無料で、相談内容や相談者の身上、家族に関する秘密は守られます。

こんな悩みはありませんか

障害者手帳の取得に必要な手続き方法が分からない

医療費や生活費など、経済的に不安

働きたいが、自分に適した職が分からない

ヘルパーを利用したい

家族関係で悩んでいる



悩みごとは市の障害者相談員へ

◎身体障害者相談員

池田 佐江子さん=寄木新田=(☎76-4730)

◎知的障害者相談員

熊澤 博さん=上関=(☎77-2435)

伊藤 昇さん=南寄木=(☎76-3673)

障がい福祉ガイドブックを配布しています

障害福祉サービスは、病気や障がいのある人が利用できますが、障がいの内容や本人の状態によって利用できる内容が違います。市では、サービスの内容と手続きをまとめて掲載した「市障がい福祉ガイドブック」を配布しています。ガイドブックを活用し、自分に合ったサービスを利用してください。

▶ガイドブック配布・サービス利用相談窓口

地域福祉課、西根・安代各総合支所、田山支所※ガイドブックは、市ウェブサイトからもダウンロードできます。



詳細はこちら



平高HP 平高note

八坂児童遊園

今日は、西根地区にある八坂児童遊園を紹介します。

八坂児童遊園は、昭和50年4月に市が開設した、大更八坂神社に隣接する公園です。昨年10月には、県塗装工業組合北岩手地区の組合員の皆さんが奉仕活動として、さび落としやペンキ塗装を行い、遊具をきれいにさせていただきました。

公園内には、ブランコや滑り台のほか、山型ラダー、リング遊具などが設置され、遊具を使って、



さまざまな遊びができます。

また、トイレや木陰にはベンチなども設置されているため、ひと休みしながら遊ぶことができます。

八坂児童遊園



水分補給を忘れずに

八坂児童遊園へのアクセスなど

大更駅から車で約4分(1.2km) (大更八坂神社となり)

トイレの開放時間は午前8時から午後6時までです。



詳細はこちら

地域おこし協力隊だより

Vol.115



今月の担当
大垣 由騎

出身：大阪府
協力隊：1年目
ミッション：起業家支援
コーディネーター
休みの日は：ゴルフ、ランニング

5月に地域おこし協力隊「起業家支援コーディネーター」として着任した大垣由騎です。市主催のスパルタキャンプに参加したことをきっかけに、大阪府から移住してきました。

私が取り組んでいるミッションは「地域DX(デジタルトランスフォーメーション)」です。IT技術を活用して地域の課題を解決し、地域経済を活性化させることを目標としています。

着任後、現在までの活動では、市内事業者の皆さんに向けて、パソコンへの手打ち入力を減らすことで、打ち間違いや作業時間を削減する仕組みの提案、広報動画の制作、人材採用・管理業務の外注活用講座などを行いました。今後は、AIを活用したより高度

な業務効率化・自動化システムの研究を進めていくとともに、事業者だけでなく、市民の皆さんにも、家計に役立つIT活用講座などを企画していく予定です。

これまで、12年ほど中国の上海に住んでいた経験があるので、中国からのインバウンド観光客への対応など、活動の幅を広げていければと考えています。

市内のどこかで見かけたら「広報はちまんたいを見たよ」と気軽に声を掛けていただけたらうれしいです。よろしくお願いいたします。

企業の業務効率化に向けたサポート

や中国語の通訳ができます。手伝えることがあったら、右記QRコードから気軽に連絡してください。



問い合わせはこちら

松尾鉱山資料館だより

matsuo mine museum



松尾鉱山資料館
TEL 78-2598
ホームページはこちら

祭りを盛り上げる影の立役者 - 厚生課 -

松尾鉱山で行われる四大大行事のひとつに山神祭があります。会社の創立記念日である8月1日に行われる山神祭は、山神社を祀る祭典で、さまざまな催し物が開かれました。厚生課職員は、野外舞台の設営や有名歌手と楽団、芸人、民謡団を招いての公演準備など、当日までの数日間は大忙しの日々を過ごし、祭りの主役と言っていいほどの働きぶりでした。

山神祭の名物の1つが、参道に飾られた絵柄入りのあんどんで、これを描いたのが厚生課勤務の諸越博吉氏です。松尾鉱山で読まれていた新聞に掲載された作品から面白い川柳を選んで和紙に写し、自己流で絵や色彩を付け、墨で描きました。諸越氏が昭和24年から39年まで一人で描き続けた特徴的なあんどんは、参拝客の目を大いに楽しませました。



参道に飾られたあんどん

企画展

「雲上の樂園生活を支えた厚生課」を開催

標高1,000m近い高地にあり、1年の半年が冬という特異な環境にあった松尾鉱山。そこに暮らす人たちの生活面を幅広く支えて働いた厚生課の仕事を写真や資料で紹介する企画展を開きます。

期間：9月20日(土)～11月3日(月・祝)

休館日：月曜日

※月曜日が祝日の場合には翌平日

開館時間：9時～16時30分

入館料：無料

企画展では、諸越氏による絵入りの「あんどん」も展示します。思わず笑ってしまうような、ユニークなあんどんを見に来てください。



図書館だより

Library news



ホームページはこちら

休館のお知らせ その2

市立図書館の移転に伴う準備のため、現図書館および松尾・荒屋コミセン図書室での図書の貸し出しは、8月31日で休止しました。

9月は資料の返却と、館内の資料閲覧のみ可能で、10月から12月までは館内の資料閲覧のみ可能です。なお、10月以降は午後5時閉館となり、土・日曜日や祝日も休館します。また、8年1月から3月までは終日休館します。

・図書の返却受付 9月30日 まで

・資料閲覧のみ 9月1日 から 12月26日 まで

・終日休館 12月27日 から 3月31日 まで

松尾コミセン図書室、荒屋コミセン図書室は1月以降も閲覧可能です

利便性と効率性を両立 新施設にワクワク

新図書館は、3階の図書館のほか、2.5階の企画展示スペースや、3.5階の岩手山Viewスペースなど、多彩な利用が可能となります。また、新聞雑誌は利用しやすい1階に、2階の市子育て世代活動支援センターにもフロア専用の絵本を配置します。

地域活性、子育て支援、図書館と、役割の異なる三つのフロアを同じ事業者が管理し、効率性と利便性を両立させた施設運営を行います。



ハチ推し

市内で開かれるイベントなどを紹介します。
家族や友人を誘って遊びに行きませんか。

10月
11~13日

山賊まつり

場所: 市さくら公園イベント広場
時間: 10:00~16:00

市の特産品や農産物をはじめ、美味しい秋の味覚が味わえます。宮古市(姉妹都市)や沖縄県名護市(友好都市)からも出店するほか、ステージイベントも多数予定しています。

11日(土)には、松尾八幡平地熱発電所の見学ツアーも行います。

■問い合わせ先 商工観光課(☎内線1312)



地熱発電所見学ツアーの詳細はこちら

9月
20日(土)

市産業まつり2025

場所: 松尾総合運動公園
時間: 10:00~16:00

■問い合わせ先 商工観光課(☎内線1321)

地域の産業や観光資源を広く紹介する「産業まつり」を、大人気イベント

Little Bee of Hachimantai わくわくおしごとたんけん広場

になった「わくわくおしごとたんけん広場」と同時開催します。

場所: 松尾総合運動公園、アリーナまつお
時間: 10:00~15:00

■問い合わせ先 市商工会青年部(☎76-2040)



詳細はこちら

人気イベント!

キッチンカーや屋台も多数!

10月
18日(土)

はちマルシェ

場所: フーガの広場、西根総合支所駐車場
時間: 10:00~16:00

本年で3回目となる「はちマルシェ」。屋台やキッチンカーのほか、花巻おもちゃ美術館の出展、多数のアトラクションを予定しています。

■問い合わせ先 商工観光課(☎内線1311、1317)



11月
3日(月)まで

県民の森の秋と啄木 ~案内人 啄木ソムリエ・山本玲子~

場所: 岩手県民の森 森林ふれあい学習館フォレスト i

啄木ソムリエ・山本玲子さんの解説で、石川啄木が詠んだ秋の風景を県民の森の自然と共に味わいます。期間中は八幡平温泉郷にある3軒のカフェやレストランで啄木コラボメニューも味わえます。

■問い合わせ先 同学習館フォレスト i(☎78-2092)



詳細はこちら

9月
21日(日)

曲田先祓い

場所: 曲田公民館~曲田正観世音神社
時間: 10:30~

「曲田先祓い」は、曲田正観世音神社の祭礼の日に見ることができます。曲田地域へ伝播した時期は不明ですが、他の先祓いより古いのではないかとされています。兄川先祓いと同様に、刀を持って舞う奉納舞です。

■問い合わせ先 文化スポーツ課(☎内線1143)



9月
21日(日)

平館地区の子どもたちも参加し 神輿を巡行します

出発: 平館八幡宮
時間: 9:15~11:20(予定)

歴史ある平館八幡宮例大祭で、平館コミセンから平館駅までの区間を神輿が巡行します。神輿巡行には、地区の子どもたちも参加します。沿道から声援を送りましょう。

■問い合わせ先 平館八幡宮事務局(☎080-4511-9375)



防災安全課 地域安全係 ☎内線 1265
消防防災係 ☎内線 1261

知ってナッ
みんなの安心

交通事故に遭わないように 秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が、9月21日から30日までの期間、実施されます。県内では、8月7日から17日までの11日間に7件の交通死亡事故が発生し、県警では「交通死亡事故多発警報」を発令しています。この機会に、交通安全への意識を高め、運転時や歩行時の安全確認を心掛けましょう。

運動の重点項目

- POINT 1 歩行者の安全な道路横断の実践と、反射材用品や明るい目立つ色の衣服などの着用促進
- POINT 2 ながらスマホや飲酒運転などの根絶と、夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- POINT 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

高齢者の運転免許証 自主返納者を支援

市は、令和5年4月1日以降、75歳以上の市民を対象に、すべての運転免許

許を自主返納した人に、市コミュニティバス回数券(1万2000円分)またはタクシー券(1万円分)のいずれかを交付しています。

交付申請の手続きは次のとおりです。

- STEP 1 運転免許センターや警察署などで運転免許を自主返納
 - ※「申請による運転免許の取消通知書」の交付を受けるか「運転経歴証明書」(交付手数料1100円)を取得
- STEP 2 市防災安全課や総合支所などの窓口で交付申請
 - ※「申請による運転免許の取消通知書の写し」または「運転経歴証明書の写し」を添付
- STEP 3 市から申請者あてバス回数券またはタクシー券を送付します。

運転免許証の自主返納制度とは

加齢や病気などで「運転に不安を感じている」「運転の必要がなくなった」などの理由で自動車などを運転しない人が、本人の申請により運転免許証を返納できる制度です。



消防 5分団2部の車両更新 迅速な活動に力を発揮

市消防団第2方面隊第5分団第2部(谷地中・湯沢)に配備する新しい消防車両の、消防団への引渡式を7月31日、市役所本庁舎前で行いました。引渡式で田村泰彦副市長は「これまでの車両は30年以上使ってきたもので、故障などもあり不便を掛けてきた。引き続き市民の生命・財産を守るため、安心、安全を守る活動に励んでいただきたい」と訓示。引き渡しを受けた米田兼彦団長は「車両の更新に感謝する」と述べるとともに「新車両が配属される第5分団は、操作に熟達し、市民の生命財産を守るため、有事に備えていただきたい」と力を込めました。



消防車両の操作説明を受ける5分団2部の団員

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、頭痛、皮膚の痒み 等

漢方のあさひ薬局

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077

八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227

https://www.asahi-kanpou.com/

LINE 漢方のあさひ薬局@八幡平市 ID @083kkehm

こんなまちだったら良いな

初開催の子ども議会に向け市内児童が事前研修

自分が普段から感じていることを質問し、意見を表明する場として11月15日に開かれる「子ども議会」の事前研修会は8月1日、市役所大ホールで行われました。

研修会には市内小学校の児童20人が参加。児童は、市議会の役割などを学んだ後、子ども議会での質問を考えるグループワークに取り組みました。

木元咲陽さん(田山小6年)は「疑問に思ったことを文章にすることは難しかったけど、質問を作る作業は順調に進んで良かった」と安堵の笑みを浮かべました。



子ども議会で行う質問の作り方を学ぶ児童



バルーンを見上げ、歓声を上げる平館小の児童

希望乗せ、天高くどこまでも

学校創立150周年を迎える平館小が記念事業

平館小は8月21日、本年度、学校創立150周年を迎える記念事業の一環として、風船に願いを込めて空高く飛ばすイベント「バルーンリリース」を行いました。

バルーンリリースには全校児童93人と教職員が参加。「平館小学校おめでとう」の掛け声で、風船から手を離すと、ゆっくりと舞い上がった風船に、児童は歓声を上げました。

明治8年に開校した同小は、11月1日に記念式典を開催する予定です。

伝統の祭りで地域にぎわう

市指定無形民俗文化財「兄川先祓い」を披露

兄川稲荷神社祭典は7月20日、兄川公民館と同神社周辺で行われ、多くの人で賑わいました。

祭典では、約20人の踊り手が「みこしが通る道を舞によって祓い清める」という由来を持つ「兄川先祓い」を披露。太鼓や笛の音に合わせ、8つの演目を勇壮に踊り、見守る地域の人や見物客などを魅了しました。

兄川先祓いの発祥は定かではありませんが、言い伝えによれば、地域に宿場ができたことを記念し、同神社祭典で先祓い舞などを踊ったのが始まりとされています。



兄川先祓いの特徴である刀を用いた踊りを披露する踊り手



大太鼓を打ち鳴らし、掛け声を挙げる田山本村の太鼓行列

山間に響く送り盆伝統の音色

田山地区で市指定無形民俗文化財「ぶっこみ太鼓」披露

田山地区の送り盆の伝統行事「田山ぶっこみ太鼓」は8月16日、田山保育所とその周辺で行われました。

ぶっこみ太鼓は、同地区内の本村で行われる盆踊りに先立って披露される太鼓と提灯の行列です。大太鼓を打ち鳴らし、声を上げて各集落から会場に進んだ迫力ある行列が、地区内に盆踊りの始まりを告げました。保存会会長を務める米川明彦さんは「市無形民俗文化財に指定されたからか、今年は見に来る人が多い気がする。次の世代につなげるため、若い人たちに太鼓を教えていきたい」と力を込めました。

東北・全国に向け力強く決意

県中総体相撲競技で昨年に続き寺田道場が団体優勝

第72回県中学校総合体育大会相撲競技の団体戦で優勝した地域クラブ「寺田道場」の選手が7月25日、佐々木孝弘市長を表敬訪問しました。

齋藤煌生さん、佐々木大翔さん、千葉瑛太さん、畠山空士さん(いずれも西根一中)と、雫石中の生徒をメンバーに、寺田道場としては2年連続の団体優勝を成し遂げました。

齋藤さんは「土俵際の詰めを意識して練習し、東北大会、全国大会に臨みたい」と力を込めました。



佐々木市長へ優勝の報告と次戦への決意を述べる生徒たち



開けられたカプセル内の品々を懐かしむ参加者

旧友との思い出掘り起こす

浅沢小閉校時埋蔵のタイムカプセルを開封

平成14年度末で閉校した旧安代町立浅沢小の閉校記念事業として埋蔵されたタイムカプセルの開封式は8月14日、浅沢コミセンで行われました。

コロナ禍のため3年延期して開かれた式には、当時の在校生ら約30人が参加。収められていた作文などを見ながら、23年前を懐かしみました。当時3年生で、現在はジムを経営している山本雄太郎さんは「小さい頃はオリンピックに出たいと思っていた。収めた運動着を見て、当時の思いがよみがえってきた」と記憶を思い起こしていました。

スナップ ギャラリー



安代・田山小の児童が、安代りんどうの収穫から出荷までの行程などを学んだ(8月27日、りんどう学習「花育」)



上村地区資源保全会が13㍍の農地につくったヒマワリ畑の迷路を楽しむ松尾保育所の園児(8月19日、野駄地内)



ダイナミックで趣向を凝らした大輪の花がお盆の夜空を彩った(八幡平ふるさと花火まつり、8月15日)



住民手作りの山車が寺田地区内を巡行し、太鼓や笛の音、掛け声を響かせた(7月17日、白坂観音例大祭)



館市・五日市両地区の子ども約20人が、米代川で川下りを楽しみながら交流を深めた(7月27日、館市地区振興協議会)



7月29日で100歳を迎えられた加賀ハツエさん=南奇木=これからもお元気で(7月31日、松尾デイサービス)

SNAP GALLERY

横間の伝統をつなぎたい。その一心で

「今年も祭りを無事に開催できてよかった」と笑顔を見せるのは、7月20日に行われた市指定無形民俗文化財「横間虫追い祭り」の保存会会長を昨年から務めている畠山修悦さん。

「祭りで使う人形の制作を専門でやってきた自分は、会長をやるタイプでねえんだけど。地区の伝統行事を守るために、頑張らねえと、と思って」と語る。安代町史によれば、祭りは、天明3(1783)年の飢饉の際に山伏が現れ「五穀

は、天明3(1783)年の飢饉の際に山伏が現れ「五穀

豊穰」と「悪病退散虫追い」をしたのが始まりとされ、悪い虫をはらう鬼を模した男

人形・女人形を掲げた行列を作り、かねや太鼓を鳴らしながら「五穀豊穰、稲虫はらえ、豊作祭りや」と集落を練り歩く、祈りの行事です。この地で生まれ育ったが、祭りのことを知ったのは「働き始めてからだなあ」という畠山さん。「昔は大人だけでやってたんじゃないねえがな。小さいころは行列に参加した記憶がねえもん」

「何としても横間の伝統をつなぎたい。その思い一心でやっています」と語る畠山さん



「何としても横間の伝統をつなぎたい。その思い一心でやっています」と語る畠山さん

横間虫追い祭り(市指定無形民俗文化財)保存会会長

畠山修悦さん

はたけやま・しゅうえつ 75歳 曲田横間

という。また、祭りに関わり始めたのは「当時、大工として働いていたせいか、先輩に教えられながら、人形制作に携わったのがきっかけ」とも。今は、人形制作に使う稲わらは、自分の田んぼで収穫したものを使い、着せるタスキは、マンダの木の皮を用い、自ら制作している。

これまでを振り返り「祭りには、40年ぐらいいし、か携わってねえけど、頑張って取り組んできたなあ」と感慨深げ。祭りを若い人に伝えようと、教えながら準備に当たるが「さっさと準備するので、見ていて気持ちが良い」と感心する。

人が減り、行列をなす人数は少なくなった。祭りの維持

※シナノキ(マダとも呼ばれる)



虫追い行列で担ぐ、鬼を模した人形を、出発前に確認する畠山さん(左)

昭和24年生まれ。勤め先を退職した現在は、インドウ、水稲栽培を「自分の楽しみで」行っている。今年も息子に譲ったが、長年、行列の先頭に立ち「五穀豊穰、稲虫はらえ、豊作祭りや」と掛け声を切り出す役を務めてきた。「青空の下で、大きな声を出して歩くのは気分が良いもんだよ」と笑顔を見せる。

は大変だが「市外に働きに出ていった人が、祭りに合わせ、子ども連れで帰って来てくれるのが嬉しい」と目を細める。コロナ禍で休んだが、去年、今年と、お客さんを招いて開催し、祭りは取り戻した。来年は「もっと良い祭りに」と考えている。「人がいなくて大変だけど、まあ、頑張んのよ」と力を込める。

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。

関節痛、腰痛、骨を丈夫に
 コミュニティバス
 「八幡平中央整形」バス停そば
 (八幡平中央 整形外科・内科クリニック)
 漢方のあさひ薬局
 八幡平市大更25-118-1 TEL.0195-75-2227

編集後記

▽市制施行20周年の節目に合わせて、表紙をリニューアルしました。表紙を見て、まずは手に取ってもらい、さまざまな情報を知ってもらうことも、より多くの人にもっと本市を好きになってもらえるような広報づくりに取り組みたいです。▽白坂観音例大祭を取材。昨年はスケジュールの関係で見られなかった山車巡行を、撮影のベストポジションを教えてもらいながら、ようやくカメラに収めることができました。間近で見た山車の迫力に圧倒されつつ撮影した巡行の様子は、市公式Instagramでも紹介しています。

※8月15日の「二十歳のつどい」の様子は10月号でお伝えします。

